

## ジュラルミン製自転車「十字号Ⅰ型」 （1947年）



太平洋戦争終了後間もない昭和21年6月、航空機設計技師の本庄季郎氏考案によるこれまでにない形の自転車が実用新案申請されました。翌年6月から発売されたその自転車は銀色に輝くジュラルミン（アルミニウム的一种で重さは鉄の3分の1、強度はアルミニウムの2倍）製のクロスフレームでした。今でこそよく見る形ですが、当時の人たちにとってはほとんど見たこともない形の自転車でした。

戦争機材用だったジュラルミンを転用したもので、詳細な強度計算のもとで設計された結果、軽量かつ強度な自転車がこのクロスフレームだったのです。その形から「十字号」と名付けられ約1万4000台が生産された後、23年6月から改良が加えられたⅡ型が登場しました。

自転車文化センター 谷田貝一男